津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話（代表3111番）
編集　編集委員会
印刷所　旭印刷所
電話（水俣）③4101番

新入学児童の
お母さん大いに語る!!
座談会

やさしい先生の指導のもとに児童達は学習を楽しんでいる

＝出席者＝
上原リフ子（平国）
上村サミ子（平国）
松田アサエ（赤崎）
岩崎美津子（赤崎）
永松史子（津奈木）
山口登貴子（津奈木）
松本知畏子（津奈木）
司会　永松登弥

⊙司会者　「子供を始めて学校に出すのは」子供にも、ご家庭でも殊にお母さんにとっては大きな喜びであり感激ではないかと思います。それだけ関心も深く、感じも又新しいものと思うと共に、一種の不安めいたものもあると思います。今日は、始めて子供を学校に出したお母さんの話を聞くことに致しました。雨の中、お集りいただいて、有難うございました。

先ずおききしたいのは「始めて子供を学校に出して」どんなお気持ちですか。

D…やれやれという気も致します。

C…さて、これからが大変だという気がいたします。

A…よろこびが半分、心配が半分というところです。

⊙司会者…そうでしょう、それでは、どんな点をご心配になられますか。

B…友達についていけるかどうかということです。

C…他に迷惑をかけるようなことはないかと案じます。

F…成績にこだわってはいけないと思いながら、やっぱり成績のことも気がかりになります。

E…がまん強く、たくましくチョットしたことに、くじけない子供であってほしい。

G…我ままであったり、悪い方に走るようなことがないようにと思っています。

A…学校でのこと、途中でのこと、やっぱり心配で、元気で帰って来た顔を見ると、ホッとします。

⊙司会者…ごもっともなことです。そこで、それらの心配を少しでも軽くするために、入学前にどんなことに留意されましたか。

C…幼稚園で一通りやっていますので、朝起きなども、そう苦になりません。

F…集団登校で上級生がやさしく世話してくれますので大助りです。

E…昔は、ガキ大将のようなのがいて、下級生をいじめたということもありましたが、今の上級生は、やさしくて、よく世話をしてくれますね。

右から永松・山口・松本・永松司さん

F…集団生活には、一応馴れていますから、その点安心していました。

A…入学前に保護者会をやって下さるので、子供の心構えもできるようです。

⊙司会者…お話の中で幼稚園教育の有難さがよくわかります。そこで入学後十数日になりますが、子供さんに何かお気付になりましたか。

D…幼稚園の時は、顔も洗ったり洗わなかったりでしたが、まいあさ、よく洗うようになりました。

A…先生の影響力の大きいのにビックリいたしました。

C…先生のおっしゃることをよく守りたいという気持で、いっぱいのようです。

⊙司会者…「先生を信頼する」これは教育の根本ではないでしょうか、子供が先生を信頼するように、母親が又先生を信頼することが、大事と思います。そこで先生に対する希望をちょっぴり……

⊙司会者…話わ、かわりますが、子供さんの始めての入学を機に、何か家庭に変ったことは起りませんでしたか。

B…今迄朝寝していた主人が、子供の登校前に起きないと言って朝早く起きるようになりました。

C…うちではテレビの見方を考えないで、よいだろうかと話しています。

夕食は必ず一緒に食べるようにいたしました。

⊙司会者…大変結構なことで、この機会に少しでも家庭を教育的に改めて、家族総ぐるみで、環境を整えるということは、家庭教育の根本の問題ではないかと思います。

さて、今迄入学前、入学後のことにおいて、話を承りましたが最後に……子供さんが一年生であるように、皆様はPTAの一年生という訳ですが、PTA一年生としての感想や希望は如何ですか。

A…やっと子供を入学さしたばかりで、まだそこまでは考えていません。

⊙司会者…それでは長時間有難うございました。流石に優良なお母さんばかりで感心いたしました。（一同笑い）どうぞお子さんが、立派に育たれるよう心よりお祈りいたします。（発言者と氏名がはっきりしなかった為付号で表しました。ご了承下さい）

右より松田・岩崎・上原・上村さん

C…今は連絡帖があって、日々のことをよく連絡して下さいますのでよくわかります。

F…連絡帖はいいですね。

A…先生方も、いろいろと大変でしょうけれども、連絡帖で大助かりです。

⊙司会者…話わ、かわりますが、子供さんの始めての入学を機に、何か家庭に変ったことは起りませんでしたか。

B…今迄朝寝していた主人が、子供の登校前に起きないと言って朝早く起きるようになりました。

C…うちではテレビの見方を考えないで、よいだろうかと話しています。

夕食は必ず一緒に食べるようにいたしました。

⊙司会者…大変結構なことで、この機会に少しでも家庭を教育的に改めて、家族総ぐるみで、環境を整えるということは、家庭教育の根本の問題ではないかと思います。

さて、今迄入学前、入学後のことにおいて、話を承りましたが最後に……子供さんが一年生であるように、皆様はPTAの一年生という訳ですが、PTA一年生としての感想や希望は如何ですか。

A…やっと子供を入学さしたばかりで、まだそこまでは考えていません。

⊙司会者…それでは長時間有難うございました。流石に優良なお母さんばかりで感心いたしました。（一同笑い）どうぞお子さんが、立派に育たれるよう心よりお祈りいたします。（発言者と氏名がはっきりしなかった為付号で表しました。ご了承下さい）

文責　永松登弥

＝津奈木町＝小中学校＝
わたしたちの先生

昭和51年度、町内小中学校の各先生達を写真で紹介致します。あなたのお子さまの担任の先生をごぞんじですか、担任の先生を知らないようでは、ほんとうの教育はできないと思います。そういういみから写真でお見知り願い、道であったらおたがいに、えしゃくなりとかわしてもらいたいものであります。

津奈木中学校

後列右より
江口龍文先生　二の二
西　宏子先生　二の三
本田守先生　体育主任
前列右より
西弘先生　二の一
小島陽先生　一の一
広松正先生　一の二
猶木勇先生　教務
鬼塚信臣先生　三の三
明石輝雄先生　校長
矢田昭士先生　三の一
千々岩護先生　教頭
上塚明芳先生　三の二
畑中秀夫先生　一年主任
松村誠也先生　復式
吉田耕一先生　二年主任
山形秀晴先生　庶務
千々岩英昭先生　三年主任
宮田由美子先生　養護
和田邦博先生　一の三
作田ヒロ子先生　復式

津奈木小学校

後列右より
小川巌先生　五の二
大渕雅子先生　養護
百原三男先生　復式
前田利雄先生　六の二
宮島安先生　六の一
山下博之先生　庶務
松本シマ先生　復式
中列右より
川上倫子先生　五の一
森山淳子先生　四の二
福田啓二先生　四の一
徳永賢一郎先生　教務
友田多真江先生　三の二
前田松次郎先生　三の一
宮崎暁子先生　復式
前列右より
松永ひとみ先生　一の二
椎葉洋子先生　一の一
芥川正則先生　校長
由川二郎先生　教頭
松山セツ子先生　二の二
山田シスカ先生　二の一

赤崎小学校

後列右より
上村秀樹先生　四年生
松本千代子先生　一年生
鶴田和子先生　二年生
三池美千代先生　養護
財部洋子先生　三年生
前列右より
田中祥之先生　六年生
三島哲男先生　五年生
大橋盛澄先生　校長
出水晃先生　教頭
石田昭子さん　庁務員

平国小学校

後列右より
北田義郎先生　三年生
森野智子先生　養護
大石良子先生　四年生
中山圭子先生　二年生
村上昭子さん　庁務員
池辺利昭先生　六年生
前列右より
宮崎健三先生　五年生
西山広先生　教頭
小島登喜夫先生　校長
浦本里子先生　一年生

全国青年の船

中近東、東南アジア訪問記 (一)

林田　和幸

総理府長期海外派遣

本年一月から三月まで六五日間、総理府主催の青年海外派遣事業「全国青年の船」に参加し、中近東、東南アジア諸国を訪問する機会を得ました。

これは研修及び規律ある団体生活を通じて心身を鍛練するとともに、各国青年との親善交歓と相互理解、日本文化の紹介、各地の視察、見学等を行ない、国際的視野を広め国際協力の精神を涵養し、日本の姿を正しく理解し次代を担う中堅青年の育成を図ることを目的とするものです。

団員は各都道府県から応募それぞれの中間選考を経た青年男女二四〇名（内女子八〇名）と各国から代表派遣されたOM（外国青年）五〇名で構成され、教官一五名、管理部一〇名、総勢二一五名で組織運営され、シンガポール（往復寄港）スリランカ・インド・パキスタン・クウエートの各国を訪問しました。

庭園の都　シンガポール

＝東南アジアの都市国家＝シンガポールは都市国家です。日本でいう知事や市長はおりません。他の独立国家と同様に、司法立法、行政の各機関があり、議会は一院制、行政府の長は首相のリー・クアン・ユー、元首は大統領のベンジャンミン・ヘンリー・シアース博士となっています。シンガポールは日本の淡路島程度の小さな島国で、シンガポール島と週辺のさらに小さな島からなっています。

この国は工業化を推進する一方、自然の保護と緑化運動にも力を入れています。またタバコの吸いがらを道路に捨てたり、ツバを吐いたりすると高い罰金を課せられます。町はたいへん清潔に保たれ、そのため、シンガポールは、ガーデン・シティ（庭園の都）とも呼ばれています。

このようにシンガポールは国土が狭隘であるため、土地の有効利用が緊急の課題となっており、20年後の都市の青写真をもとに、都市計画をつぎつぎに実行に移しています。人口の増加、経済の発展に伴い、建築物の高層化が進められています。たとえば、島の各地に大規模な高層ビルの団地が作られていますが、これも都市計画の一環をなすものです。現在国民の約40％がアパートに住んでいますが、近い将来には、人口の過半数がアパート居住者になることが予定されています。

南国の楽園　シンガポール市

シンガポール　ジュロン工業団地

シンガポール本島の南西部にあるジュロン・タウンは、東南アジア最大の規模を誇る工業団地となっています。

一九七五年未現在で三、〇三五ヘクタールの土地に、約四五〇の各種工場が建っており、その規模はさらに拡大を続けています。ジュロン工業団地は、シンガポール経済発展のかなめとしての役割をになっています。

ここは、以前、丘陵と湿地があったところですが、一九六一年から土地の造成を開始し、創始産業に対する税制上の優遇措置を講じて、外国企業の誘致を積極的におし進めその結果、シンガポールの地理的有利性とか労働力の質のよさなどもあって、ジュロンはわずか一〇年あまりの期間に現在の大工業団地に生まれかわっています。

従来、私達はシンガポールが中継貿易国家であると学んできました。しかし、同国は、工業化、特に輸出指向型産業の確立に努めてきた結果、中継貿易の経済に占める比率は年々低下して、現在は、石油製品、木工製品、繊維製品、船舶などを製造し輸出する工業国家に発展しました。独立以降の年平均経済成長率は名目で約一四％、一九七三年の国民総生産は四、一二一百万米ドル（一米ドルは約二、四シンガポールドル）一人当り国民総生産は約一、八八六米ドルと、アジアにおいては日本に次いで高い経済発展を示しています。

また、アジア・ドル市場といって、シンガポールの銀行が非居住者から外貨表示の預金を受け入れ、その資金を世界的に運用する仕組があります。シンガポール政府はこのアジア・ドル市場の育成にも力を入れています。

（次回はスリランカ）

シンガポール大使館にて
代表表敬訪問のメンバーと〔写真中央〕

私説　老人優等生 (五)

倉谷　岩本ツギさん

老友会の天草旅行一行八十名の中に、とても明るく朗らかで親しみ易い、屈託のないお婆さんがおられた。

倉谷の岩本ツギさん（八十四才）である。お産以外はねたことがないと言われるほどの健康体で、三度三度の食事には一杯（五勺位い）焼酎を欠かしたことがない。お婆さんの楽しみだからといって子供さん達が、代るがわる持って来て下さるとのこと。「焼酎は薬ですたい」とツギさんが言う通り、毎食事一杯は楽しみであろうと共に、永い生活体験から生み出した健康への知恵とも言うべきだろうか。

岩本ツギさん（84才）

然しここに見逃してならないことは、ツギさんの精神生活つまり心の持ち方である。明るくて、朗かでクヨクヨしない、人の悪口など一切口にしない、嫁さんとは仲がよく頭の下る思いがした。

「お婆さんが元気だから私は気がねなく外で働くことができます。それにこの年まで、つまらぬ私に小言一つも言わず、ろやさしく教え導でたまらないのに、不平一つ言わず、お婆さんお婆さんと私を大事にしてくれ、長生きして下さいと私をしたってくれる。私は幸せと思います。」と互に姑と嫁が心から感謝しあい慰めて下さって、いいお婆さんをもって私は幸せ者と思っています。」と言えば「病中の息子に代って、一家を切りもってくれる嫁じょに気の毒に感謝しかわにわだかまりもなく、常に心にわだかまりもなく、常に感謝の生活、これらがツギさんの健康長寿に大きく影響しているであろうことを、殊に嫁さんと仲のよいことには深いながらの姿を見て、あまりイザコザの多い近頃の世相の中に望ましい嫁姑のあり方の見本を見せてもらったようで、今は亡き武者小路さんの「仲よきことは美しきかな」を思い出し心温まる気持で、いっぱいであった。ツギさんは老友会の例会にも無欠席で「あんたが来んと賑あんばい。」と親しまれている。嫁に孫にしたわれ、近隣に親しまれるお婆さん、そして達者なお婆さんの年輪の重さをつくづく感じた。

老友連会長　…松登弥

意気あがる走ろう会

財部栄喜さんの朝は早い。斉藤アツ子さん一緒のことあり。元村壮さんご夫妻は婦唱夫随で、奥さんにあわせて走っていられるよう。

沢田進さんはすずり岩道をこつそり走っていられる。後から挨拶をかけて、勇ましく追いこして駅の方に消えてゆくのは浦上奥さん、雨天には傘さして走るのには感心。

浜の方からご婦人二人、息をはずませて、浜本繁己さん西川さんらは一流の走り方で、共に上って来られることもある。日野さんはいつもしっかりした足どりで走られる同志。

これからは私が朝お会いする走ろう会の会員、各地区もご同様である。走ろう会はまさに花盛の観。（岡松　壮）

"早朝の空気はオイシイヨ"

肥後狂句

堀　双岳　選

二度も三度も催促してとれん銭。

大賛成子の付添いで行く旅行。

二度も三度も失敗したっがよかくすり。　貞夫

大賛成招待旅行は京都奈良一。

二度も三度も見合させても気に入らん。

大賛成遊びとなるといの一番。　わらび

大賛成孫の守りよかゲートボール。

二度も三度も念入りすぎて間違えた。　緑助

大賛成満場一致の大拍手。

大賛成物価下げきる政党なら。　笹岳

二度も三度も嫁持ちかえてよかつなら。

大賛成会場は日奈久に決めさした。　双岳

次題は……ちいん来ん。　道傍地蔵さん

五句以内……五月末まで　公民館まで。

＊＊＊＊＊

昭和51年度

社会教育団体役員

津奈木町老友連合会

会　長　永松登弥
副会長　林田義人
監　事　椎葉閏二郎
監　事　福村安則

老友会地区会長

地区	会長
内野	松原兼義
倉谷	竹永庄市
川内	下川寅吉
上下門	福崎　清
古中尾	山崎直次郎
中尾	緒方孝行
竹中	藤本兵五
染竹	伊藤一高
浜崎	福島末喜
桜戸	山口三郎
町中	志崎鳥末
浜	西川三好
小津奈木	永里勝人
大泊	椎葉閏二郎
赤崎第一	林田義人
赤崎第二	吉野藤寿

津奈木校区婦人会役員

会　長　山口享子
副会長　川村静子
副会長　宮崎哲子
書　記　津奈木スミ子

地区婦人会役員

地区　委員　支部長
倉谷・福島イツ子・林　絹代

連合青年団役員

書　記　吉野ミエ
福浦支部長　福田ヨシエ
団　長　野崎憲章　平国上
副団長　福田千賀子　福浦
副団長　寺本信介　内野
文化部長　松田芳守　日当
生活部長　長浜芳子　平国下
体育部長　新立　広　大泊
事務局長　西平久雄　川内
事務局員　若島育代　内野
事務局員　浜田しのぶ　平国上
監事長　福田三継　福浦
監　事　松原睦子　内野

青年団各支部団長

福浦支部　福田　豊　福浦
赤崎支部　吉野　強　日添
平国支部　村上義広　平国下
大泊支部　新立秀之　大泊
FF支部　山下一喜　新川
千代支部　竹田信一　上下門
上下門・折木ヨシ子・門村トキエ
川内・北岡道子・下川久代
内野・山下鉄子・藤井洋子
染竹・松田初江・有本鶴江
桜戸・元村初江・浦上ノリ
町中・松本チホ・千々岩順子
新川・元村栄子・浜本ミツエ
古川・山下節子・西川ムキ子
大泊・西　滋子・津奈木澄子
浜崎・（未定）・（未定）

赤崎校区婦人会役員

会　長　尾花みづの
副会長　吉野ヒサエ
副会長　岩崎シマ子
生協係　岩崎ミツ子
生協係　諫山和子
会　計　佐々木チサ子

平国校区婦人会役員

会　長　鬼塚妙子
副会長　長浜サチ
会　計　野崎久子

歳時記（春）

燕の巣みどりのかげのさしみたり　＝大野林火＝

巣燕の寝る時は皆寝るらしさ　＝細見綾子＝

〔写真〕公民館玄関のツバメの親子

完結編

ほこら始末記 (一)

堀　二雄

明治の新政府も、西南の役が治ったところで、漸く庶政刷新の歩を踏み出した。日進月歩の西洋諸国に、少しでも追いつくためには、ちょんまげ頭を切り替え、庶民の抱く因習の壁を打破せねばならなかつた。

幕政をはなれて僅か十年、まだまだ庶民の間には、邪宗淫祠の類がはびこって、禍が絶えなかった。政府は県令に命じて神祠の整理を行ったらしく、役場の古い書類を見ると、神祠存置願と言うものが、村人民総代、村社祠掌、戸長、区長の連署で、県令に提出され、県令は保存管理等の条件付で許可を与えている。

その様式は次の通り。

神祠存置願（原文のまま）

第十三大区九小区芦北郡岩城村字浜崎。

一塩竈神祠、祭神、猿田彦太神、勧請建立年月日不詳

建物、七尺二寸七分

敷地、拾弐坪、官有地

右者是迄之通存置致置岩城村社津奈木神社祠掌受持ニ被定候様此段連署ヲ以奉願候也

第十三大区九小区岩城村人民総代、明治十一年十一月二日

鶴田　善太郎

右同村社津奈木神社祠掌

蟻川　維長

右戸長　久野　寛基

右区長　緒方　三綱

熊本県令　富岡　敬明殿

この願書の裏書が沫筆されてある。

書面願之趣聴届候事

熊本県令富岡敬明代理

明治十一年十二月十七日

熊本県大書記　松本鼎永続

法方書

一金　弐円也　借金

此利三拾六銭

但月壱分五朱ノ利子ニシテ貸付置本文利金ヲ以諸入費金トス。

一修繕等之事

但し用材其他諸品々等之義ハ受持戸数拾四戸ニテ其時々賦課ヲ以ス。

右之通相違無之候也。

明治十一年十一月鶴田善太郎

このような事で、現在町内の祠は始どが明治十一年の認可を得たので二十祠を越える。